



# 隔離された環境の監視: 同期サーバ



<https://pandorafms.com/manual/!current/>

direct link:

[https://pandorafms.com/manual/!current/ja/documentation/pandorafms/complex\\_environments\\_and\\_optimization/10\\_syncserver\\_monitoring](https://pandorafms.com/manual/!current/ja/documentation/pandorafms/complex_environments_and_optimization/10_syncserver_monitoring)

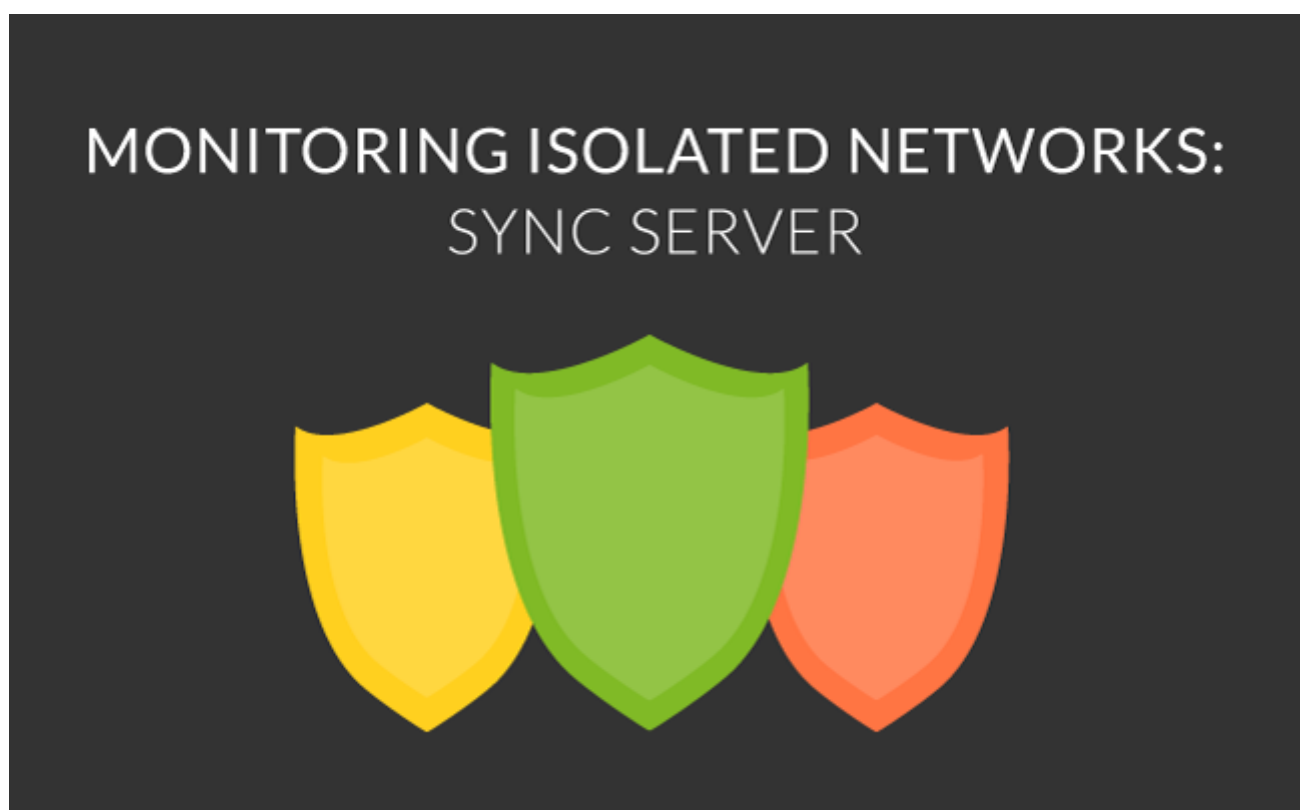
2023/06/10 14:36



# 隔離された環境の監視: 同期サーバ

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)

## 概要

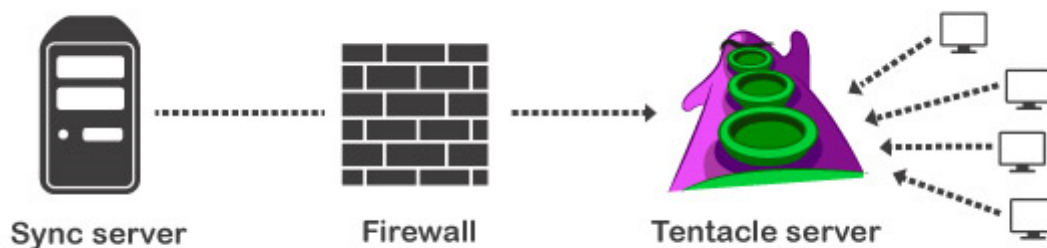


**同期サーバ**と **Tentacle** サーバを備えた隔離された環境の監視システムを使って、メインの Pandora FMS サーバとの通信が不可能なリモートネットワークへ監視を展開できます。隔離された環境への通信を開始し、すべての監視情報を収集するのは、それぞれのリモートサーバです。

この機能は、Pandora FMS サーバが直接置かれてない場所でリモートネットワークを監視する場合に特に便利です。リモートネットワークから Pandora へ通信ができない環境で、リモートサーバが通信を行い情報を収集します。

## 処理概要

この機能は、次のような構造の環境に適用します。

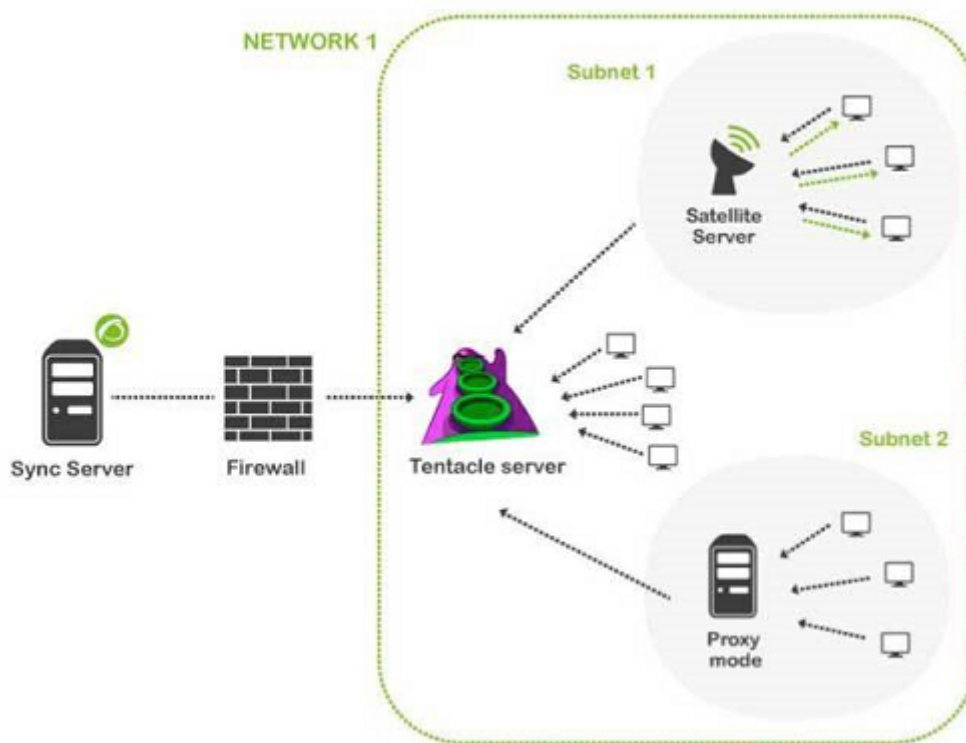


標準インストールのようにPandora FMS センtralサーバーから開始します。リモートネットワークでは、データ収集ポイント(tentacle サーバ)がインストールされ、メインサーバ(同期サーバー)が通信を開始し、バッファのように情報をダウンロードするまですべてのデータが保管されます。

バッファリングされたデータは、メインサーバにダウンロードされると消されます。

同期サーバのサテライトサーバとの主な違いは、メインのサーバが通信を開始しリモートネットワークからのデータを受け取るという点です。サテライトサーバやプロキシでは、それが Pandora FMS サーバへデータを送信します。

より複雑な環境の例:



## 設定

メインの Pandora FMS サーバにて **同期サーバ** をたてる作業から開始します。それには、設定ファイル内の次のパラメータを設定します。

```
syncserver 1
sync_address <ip_address_tentacle_server>
sync_port <port_number>
```

ここで < ip\_address\_tentacle\_server > は、Tentacle サーバの IP アドレスで、< port\_number > は Tentacle プロトコルのデフォルトのポート番号である 41121 です。

- 隔離されたネットワーク上に Tentacle サーバをインストール
- 起動スクリプト tentacle\_serverd (デフォルトでは /etc/init.d/ にあります) を修正し、TENTACLE\_EXT\_OPS の行にパラメータ -I および -o を追加します。

```
TENTACLE_EXT_OPTS="-i.*\conf:conf;.*\md5:md5;.*\zip:collections -I -o"
```

- 同期サーバが通信を開始し、sync\_address パラメーターに示されている Tentacle サーバのファイルを取得するので、Tentacle サーバ側で何らかの IP を指定する必要はありません。
- 複数のリモート Tentacle サーバを設定することができ、同期サーバは sync\_address にカンマ区切りで設定された IP アドレスすべてに対して通信を行います。

```
sync_address 10.142.50.10,20.152.50.20
```

## 全体の例

/etc/pandora/pandora\_server.conf 内:

```
syncserver 1
sync_address 10.140.70.110
sync_port 41121
```

sync\_address が 10.140.70.110 の Tentacle サーバの起動スクリプト (/etc/init.d/tentacle\_serverd):

```
TENTACLE_EXT_OPTS="-i.*\conf:conf;.*\md5:md5;.*\zip:collections -I -o"
```

## SSL を使った同期サーバ設定

Tentacle サーバをセキュリティオプション付きで設定する方法は、[クイックガイド](#) にあります。

同期サーバの通信では、SSL の利用に対応しています。pandora\_server.conf にさまざまなパラメータを追加する必要があります。また、リモートの Tentacle サーバのスクリプトにも同様に通常の SSL 接続を行うためのオプションが必要です。

## 同期サーバ

'\*pandora\_server.conf 内:

- sync\_ca: <認証局証明書のパス>
- sync\_cert: <サーバの証明書のパス>
- sync\_key: <サーバの秘密鍵のパス>

pandora\_server.conf の設定例:

```
sync_ca /home/cacert.pem
sync_cert /home/tentaclecert.pem
sync_key /home/tentaclekey.pem
```

## Tentacle サーバ

tentacle-serverd 内:

- -e: <証明書のパス>
- -k: <秘密鍵のパス>
- -f: <認証局証明書のパス>

常に パラメータに与える証明書は絶対パスにします。例:

```
/home/tentaclecert.pem
```

一通り設定を行った例は以下の通りです。

```
TENTACLE_EXT_OPTS="-i.*\conf:conf;.*\md5:md5;.*\zip:collections -e /home/tentaclecert.pem -k /home/tentaclekey.pem -f /home/cacert.pem"
```

## その他の設定パラメータ

sync\_retries: 同期のリトライ回数。デフォルトは 3 です。

sync\_timeout: 同期タイムアウト。デフォルトは 10 です

Tentacle サーバで SSL 接続を利用する場合のクイックガイドは [こちら](#) にあります。

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)